

令和5年度

保谷第一小学校 3年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「発見！地いきの自まん」
(活動名)

ねらい：

- ・保谷地域の良さをより深く知り、発信していくために、どんなことをどんな方法で調べるか考える。
- ・タブレットや本からの情報収集、家族・地域の人へのインタビューをして調べる。
- ・詳しく調べたり、実際に現地に行き地域の方々と話をしたりすることで、自分たちが住んでいるまちの良さを実感し、地域への愛着をもつ。



【1学期】

社会科の地域探検から、地域で安全に暮らすために必要なことを話し合い、安全マップを作りました。

「交通量が多い」「歩道がない」など、地域探検から危険な場所を見つけていました。



【2学期】

地域の自慢をもっと知るために「実際に話を聞きたい」と地域の方に取材をしました。

「知らないことがまだまだたくさんあった」と自分たちのまちの良さを改めて感じていました。



保谷生まれ保谷育ちの高橋前校長先生が
ゲストティーチャーで登場



社会科見学では下野谷遺跡へ



公民館やお店に完成したポスターを掲示しました

まとめ

「実は保谷地域で暮らしている人も、知らないことがたくさんあるのでは?」「自分たちのまちの良さをもっと知ってもらいたい」という子どもたちの素朴な「疑問」と「思い」から始まった地域の自慢調べ。「地域に発信する方法は?」「どうやって調べる?」自分たちで計画を立て、知恵を振り絞り、見学やインタビューに行くなど実際に足を運んで調べました。またインタビューを快く引き受けてくださった地域の方の優しさにも触れることができました。「こんなに良いところがあったんだ」「知れてよかった」など地域への愛着を深めることができました。